問題１　次の文は、改訂「生きる力」を育む小学校保健教育の手引（平成 31 年３月文部科学省）、改訂「生きる力」を育む中学校保健教育の手引（令和２年３月文部科学省）、改訂「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引（令和３年３月文部科学省）に示されている「性に関する指導の留意点」についての一部を示そうとしたものである。次の①～⑤のうち、内容の誤っているものを一つ選んで、その番号を書け。

① 学校教育においては、何よりも子どもたちの心身の調和的発達を重視する必要があり、そのためには、子どもたちが心身の成長発達について正しく理解することが不可欠である。
② 近年、性情報の氾濫など、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化してきている。このため、特に、子どもたちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。
③ 若年層のエイズ及び性感染症や人工妊娠中絶も問題となっている。
④ 学校全体で共通理解を図りつつ、体育科、保健体育科などの関連する教科、特別活動等において、早期に、心身の発育・発達と健康、性感染症等の予防などに関する知識を確実に身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、相互に関連づけて指導することが重要である。
⑤ 家庭・地域との連携を推進し保護者や地域の理解を得ること、集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行うことが重要である。

問題２　次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）の条文の一部を示そうとしたものである。文中の①～⑤の［　　］内にあてはまる語句をそれぞれ書け。

学校保健安全法 第十九条
［①］は、感染症にかかつており、かかつている［②］があり、又はかかる［③］のある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。
学校保健安全法 第二十条
［④］は、感染症の［⑤］上必要があるときは、臨時に、学校の全部又は一部の休業を行うことができる。

(2) 次の文は、学校において予防すべき感染症の解説（令和５年度改訂　公益財団法人　日本学校保健会）の一部を示そうとしたものである。文中の①～⑦の［　　］内にあてはまる語句または数字をそれぞれ書け。

［①］感染や［②］感染を感染経路とする感染症への対策として、換気の確保は有効である。
換気は、空気の流れを創出することが重要であることから、気候上可能な限り［③］、困難な場合はこまめに（［④］分に［⑤］回以上、数分間程度、窓を全開する）、［⑥］方向の窓を同時に開けて行うことが望ましい。ただし、授業中は必ずしも窓を広く開ける必要はないが、気候や天候、教室の配置等により換気の程度が異なることから、必要に応じて［⑦］等と相談されたい。

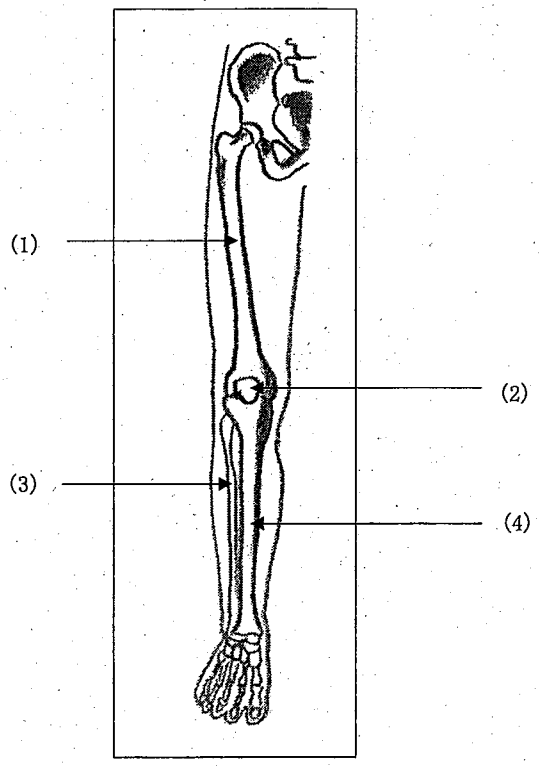
問題３　次の表は、「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議　議論の取りまとめ〔別添１〕養護教諭及び栄養教諭に求められる役割（職務の範囲）の明確化に向けて」（令和５年１月　養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議）の一部をまとめようとしたものである。表中の①～⑥の［　　］内にあてはまる語句をあとの語群㋐～㋕からそれぞれ選んで、その記号を書け。ただし、同じ番号の空欄には、同じ語句が入るものとする。

養護教諭が校内の中心的な役割を果たすべきもの	他の教職員との役割分担の中で適切な役割を果たすべきもの
・［①］（緊急事態への対応） ・健康診断 ・［②］の管理・予防 ・心身の健康課題に関する児童生徒等への［③］ ・［③］等を踏まえた［④］ ・保健室経営 ・保健組織活動	・［⑤］ ・［⑥］管理 ・各教科等における指導への参画

語群

㋐ 健康相談　㋑ 学校環境衛生　㋒ 救急処置　㋓ 疾病　㋔ 保健指導　㋕ 健康観察

問題４　次の図は、下肢の骨を示そうとしたものである。図中の(1)～(4)の［　　］内にあてはまる名称をそれぞれ書け。



問題５　「児童生徒の健康診断マニュアル」（平成 27 年度改訂　公益財団法人　日本学校保健会）に示されている児童生徒の健康診断について、次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1)　学校における健康診断の目的と役割について、文中の①～⑧の［　　］内にあてはまる語句をあとの語群㋐～㋕からそれぞれ選んで、その記号を書け。

学校保健安全法では、学校における児童生徒等の健康の［　①　］を図るため、学校における［　②　］について定めており、学校における健康診断は、この中核に位置する。また、学習指導要領解説特別活動編において健康安全・体育的行事として例示されており、［　③　］として実施されるという一面も持っている。このことから学校における健康診断は、家庭における［　④　］を踏まえて、学校生活を送るに当たり支障があるかどうかについて疾病を［　⑤　］し、［　⑥　］を把握するという役割と、学校における［　⑦　］を明らかにして［　⑧　］に役立てるという、大きく二つの役割がある。

語群

㋐ 保健管理	㋑ 健康相談	㋒ 教育活動	㋓ 健康課題	㋔ 学校行事
㋕ 健康教育	㋖ 早期発見	㋗ 健康状態	㋘ 健康観察	㋙ 保持増進
㋚ スクリーニング	㋛ 事後指導	㋜ 保健指導	㋝ 保健室経営	㋞ 経過観察

(2)　身長の測定方法について、文中の①～⑥の［　　］内にあてはまる語句をそれぞれ書け。ただし、同じ番号の空欄には、同じ語句が入るものとする。

ア　測定の際は必ず［　①　］で行う。
イ　身長計の踏み台に上がらせ、［　②　］をよくつけて［　③　］させる。
ウ　尺柱には、［　②　］、臀部、［　④　］の一部が触れた状態とする。
エ　上肢は［　⑤　］に垂れさせる。
オ　頭位を正位（［　⑥　］）に保つため、軽く顎を引かせる。

問題６　交感神経と副交感神経のはたらきについて、表中の①～⑧にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、あとのア～エから一つ選んで、その記号を書け。

器官	交感神経	副交感神経
心臓	心拍数［　①　］	心拍数［　②　］
瞳孔	［　③　］	［　④　］
腸管	蠕動［　⑤　］	蠕動［　⑥　］
気道	気管支［　⑦　］	気管支［　⑧　］

ア　①増加　②減少　③散大　④縮小　⑤亢進　⑥抑制　⑦拡張　⑧収縮
イ　①増加　②減少　③散大　④縮小　⑤抑制　⑥亢進　⑦拡張　⑧収縮
ウ　①減少　②増加　③散大　④縮小　⑤抑制　⑥亢進　⑦拡張　⑧収縮
エ　①増加　②減少　③縮小　④散大　⑤抑制　⑥亢進　⑦収縮　⑧拡張

問題７　アレルギー疾患について、次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1)　緊急性が高い症状を二つずつ書け。

全身の症状	・ ・
呼吸器の症状	・ ・
消化器の症状	・ ・

(2)　アレルギー疾患の緊急時に適切な行動ができるようにするためには、発見者、準備係、連絡係、記録係等の役割分担が必要である。次の係の役割について、内容を二つずつ書け。

発見者	・ ・
準備係	・ ・
連絡係	・ ・
記録係	・ ・

問題８　次の文は、学校環境衛生基準（令和６年３月 29 日文部科学省告示第 54 号）の一部を示そうとしたものである。文中の①～⑦の［　　］内にあてはまる語句または数字をそれぞれ書け。ただし、同じ番号の空欄には、同じ語句が入るものとする。

第６　雑則

１　学校においては、次のような場合、必要があるときは、臨時に必要な検査を行うものとする。

(1)［①］又は［②］の発生のおそれがあり、また、発生したとき。

(2)［③］等により環境が不潔になり又は汚染され、［①］の発生のおそれがあるとき。

(3) 新築、改築、改修等及び机、いす、コンピュータ等新たな学校用備品の搬入等により［④］の発生のおそれがあるとき。

(4) その他［⑤］なとき。

２　臨時に行う検査は、定期に行う検査に準じた方法で行うものとする。

３　定期及び臨時に行う検査の結果に関する記録は、検査の日から［⑥］年間保存するものとする。また、毎授業日に行う点検の結果は記録するよう努めるとともに、その記録を点検日から［⑦］年間保存するよう努めるものとする。

４　検査に必要な施設・設備等の図面等の書類は、必要に応じて閲覧できるように保存するものとする。

問題９　次の(1)～(3)の症状について該当する病名をそれぞれ書け。

(1)　立ちくらみ、失神、朝起き不良、倦怠感、動悸、頭痛などの症状を伴い、思春期に好発する自律神経機能不全の一つである。

(2)　脊柱（背骨）が横（側方）に曲がった（ねじれた）状態を指し、主に、思春期の女子に多く発症するとされている。

(3)　月経に随伴して起こる病的症状で、月経時あるいは月経直前より始まる強い下腹部痛や腰痛を主症状として、下腹部痛、腰痛、腹部膨満感、嘔気、頭痛、疲労・脱力感、食欲不振、イライラ、下痢および憂うつの順に多く見られる。

問題10　次の文を読んで、あとの(1)～(3)の問いに答えよ。

中学２年生男子が、サッカー部の練習中、ランニングやダッシュを繰り返し行っていたところ足がもつれて、倒れて動けなくなった。大量の発汗がみられたので、養護教諭が呼ばれ駆けつけた。気温も高く、梅雨明けで湿度も高いことや症状から熱中症を疑い、救急処置をして直ちに救急搬送した。

(1)　文中の下線部について、熱中症が疑われる場合の救急処置の一つとして、体表近くに太い静脈がある場所を冷やすことが効果的と言われている。氷のう等を用いて体を冷やす場合、効果的な体の部位を三つ書け。

(2)　学校全体で熱中症の再発を予防するために、養護教諭として教職員に伝えるべき内容は何か。簡潔に三つ書け。

(3)　生徒が自ら熱中症の危険を予測し、安全確保の行動をとることができるようにするために、生徒に配付する保健だよりを解答用紙の様式に従って作成せよ。

受験番号	

令和７年度　養護教諭　解答用紙（その１）

問題１　　２点

④

問題２　(1)　２点×５＝１０点　　(2)　１点×７＝７点

(1)	①	②	③	④	⑤
	校長	疑い	おそれ	学校の設置者	予防

(2)	①	②	③	④
	空気	飛沫	常時	30
	⑤	⑥	⑦	
	1	2	学校薬剤師	

(2) の①、②は順不同

問題３　　１点×６＝６点

①	②	③
㋒	㋓	㋐
④	⑤	⑥
㋔	㋕	㋑

問題４　　２点×４＝８点

(1)	(2)	(3)	(4)
大腿骨	膝蓋骨	腓骨	脛骨

受験番号	

令和７年度　養護教諭　解答用紙（その２）

問題５　(1) １点×８＝８点　(2) ２点×６＝１２点

(1)	①	②	③	④
	㋔	㋐	㋒	㋕
	⑤	⑥	⑦	⑧
	㋖	㋗	㋓	㋑

(2)	①	②	③
	裸足	両かかと	直立
	④	⑤	⑥
	背	体側	眼耳水平位

問題６　２点

イ

問題７　(1) ２点×３＝６点　(2) ２点×４＝８点

(1)	全身の症状	・ぐったり　・意識もうろう　・尿や便を漏らす ・脈が触れにくい　・唇や爪が青白い　の中から二つ
	呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる　・声がかすれる ・犬が吠えるようなせき　・息がしにくい ・持続する強いせき込み　・ぜーぜーする呼吸　の中から二つ
	消化器の症状	・我慢できない腹痛 ・繰り返し吐き続ける
(2)	発見者	・子供から離れず観察　・助けを呼ぶ　・人を集める　・子供に声をかけ続ける ・緊急性の判断　・エピペン、ＡＥＤを指示　等から二つ
	準備係	・「緊急対応」を持ってくる　・エピペンの準備　・ＡＥＤの準備 ・エピペンの使用または介助　・心肺蘇生やＡＥＤの使用 ・現場に必要なものを運ぶ　等から二つ
	連絡係	・救急車を要請する（１１９番通報）　・管理者を呼ぶ ・保護者への連絡　・さらに人を集める（校内放送） ・その他の協力者を呼ぶ　・関係機関との連携　等から二つ
	記録係	・観察を開始した時刻を記録　・エピペンを使用した時刻を記録 ・内服薬を飲んだ時刻を記録　・５分ごとに症状を記録 ・状況に応じた処置の介助　等から二つ

受験番号	

令和７年度　養護教諭　解答用紙（その３）

問題８　　１点×７＝７点

①	②	③	④
感染症	食中毒	風水害	揮発性有機化合物
⑤	⑥	⑦	
必要	5	3	

問題９　　２点×３＝６点

(1)	起立性調節障害
(2)	脊柱側わん症
(3)	月経困難症

受験番号	

令和７年度　養護教諭　解答用紙（その４）

問題10　(1) １点×３＝３点　(2) １点×３＝３点　(3) １２点

(1)	前頚部（首の付け根）の両側脇	腋窩部（わきの下）	鼠径部 （大腿の付け根の前面、股関節部）

(2)

・暑さ指数（WBGT）を確認し、生徒の安全確保と指導を行うこと。
・熱中症の事故は、部活動の練習中のランニングやダッシュの繰り返しによるものが多いこと。
・熱中症を予防するために何をすればよいのか、症状が出たら何をすればよいのかを部員全員に指導しておく必要があること。
・天候により運動時間の調節や場所の変更などを検討し、安全な活動ができるようにすること。
・気温や湿度に留意し、運動する内容や時間帯などを調節すること。
・運動中の水分・塩分補給はこまめに行うこと。
・運動中の健康観察をしっかり行い、熱中症の早期発見に努めること。
・生徒が自身の体調の変化について申し出をしやすい環境の整備をすること。　等から三つ

(3)

（解答例）

熱中症を予防しよう

熱中症とは、暑いときに体温調節がうまくできなくなっておこる病気で、命に関わることもあります。
熱中症について正しく理解し、予防しましょう。

≪症状≫

重症度Ⅰ度（軽症）	重症度Ⅱ度（中等症）	重症度Ⅲ度（重症）
・手足がしびれる ・めまい・たちくらみ ・筋肉のこむら返りがある（痛い）	・吐き気がする・吐く ・頭ががんがんする（頭痛） ・体がだるい（倦怠感） ・意識が何となくおかしい	・意識がない ・呼びかけに対し返事がおかしい ・体がひきつる（けいれん） ・まっすぐ歩けない・走れない ・からだが熱い

≪対処法≫

・涼しい場所へ運ぶ。 ・衣服をゆるめる ・体を冷やす（太い血管のある脇の下、両側の首筋、足の付け根） ・水分・塩分を補給する。	すみやかに医療機関を受診	救急車を呼び、到着までの間、積極的に体を冷やす

≪予防≫

○水分や塩分をこまめにしっかりとりましょう。
○暑いときや体の調子の悪い時は無理な運動は控えましょう。
○屋外では帽子をかぶりましょう。
○汗をよく吸い取り通気性のよい服を着ましょう。
○睡眠をしっかりとり、朝食を食べましょう。

熱中症は予防が大切！

異常を感じたらすぐにまわりの人に申し出ましょう。